

令和2年度学校運営協議会の実績報告

学校名

岐阜清流高等特別支援学校 校長 青山 孝

所在地 岐阜県岐阜市芥見南山 3-11-1 電話 058-243-0710

1 協議会の名称 岐阜県立岐阜清流高等特別支援学校学校運営協議会

2 協議会の構成委員

清水 達郎	芥見南自治会連合会会長
伊藤 知子	株式会社十八楼女将
大倉 美江	すまいる工房株式会社代表取締役
林 武	岐阜県老人福祉施設協議会副会長
五十川 勝也	芥見東身体障害者福祉協会会長
佐々木 ひなゑ	芥見東自治会連合会会計
土屋 明之	障がい者芸術文化支援センターセンター長
塚原 公乃	岐阜清流高等特別支援学校PTA会長

学 校	青山 孝	校長
	服部 秀明	教頭
	山田 理嗣	部主事
	下野 修	事務長
	横田 真	教務主任
	三橋 正康	生徒指導部長
	北川 百合	進路指導部長
	吉田 徹	保健安全部長
	齋藤 律	支援部長
	磯村 明日香	渉外部長

3 協議会の目的 学校運営 に関する目標やビジョンを地域住民や保護者、有識者と共有し、幅広く意見を求めるとともに互いに連携・協働し、教育活動の活性化及び地域に開かれた 学校づくりを推進しながら、地域や社会に貢献できる担い手となる人材を育成する。

4 協議会の開催 令和2年5月 (書面開催)

5 協議会の概要

- (1) 学校運営協議会の設置及び運営について
- (2) 委員の任命
- (3) 会長及び副会長の選出
- (4) 議題

ア 学校経営計画及び組織編成について

○学校経営計画：「働き方改革の推進と保護者との連携強化」の取組を新たに加えた。

○組織編成：「研修部」と「支援センター部」を一体化し、「支援部」とした。

進路指導部に「職場定着支援係」を新設した。

意見1：開校から3年の実績に基づき、学校経営を進めていただきたい。

意見2：先生方の時間外勤務が多くなり過ぎないように、働き方改革を進めていただきたい。

意見3：追指導を行うことで企業が安心する。企業や関係機関と連携を取りながら進めてもらいたい。

イ 教育課程の編成について

○令和2年度入学生より、「家庭科」「職業」の時間を増やした。

意見1：社会に出てからの豊かな余暇を過ごすことが大切である。文化芸術などいろいろなことに興味・関心を持つとよい。

ウ 年間行事計画について

○新型コロナウイルス感染拡大防止による学校休業により、夏休み期間の短縮や卒業式の日程等を変更し、授業日数を確保した。

意見1：授業時間数の確保のため行事が変更になるが、生徒が前向きに取り組めるような計画が必要である。

意見2：年間計画の変更で、現場実習の受け入れは大丈夫か

回答 →現場実習は、働くことを目指す生徒たちにとって重要な学習の機会である。実習受け入れ先企業と調整をしている。

エ 専門コース製品の価格設定について

○新製品の開発は、生徒の意見を取り入れながら行っている。

○消費税増税に伴い、販売価格の見直しをした。

意見1：製品の数が増えてきてよい。

意見2：新製品の開発は大変であるが、生徒が企画段階から取り組めるとよい。

6 会議のまとめ

- ・会長を土屋明之氏とする。副会長を清水達郎氏とする。
- ・学校運営計画及び組織編成について承認する。
- ・教育課程について承認する。
- ・年間行事計画について承認する。
- ・専門コース製品の価格設定について承認する。

○今春、初めての卒業生を送り出し、企業で働き続けられるよう定着支援体制の構築をする。

○開校後3年間の実績や生徒の障がいの状況を踏まえ、企業や地域で求められる生徒を育成するための教育を推進する。